



# 市議会だより



2023宇治市植物公園写真コンテスト 宇治市長賞 作品タイトル：みいつけた 撮影者：植道 正和

## contents

- 02 ◆ 9月定例会の概要
  - ◆ 議事内容（抜粋）
- 03 ◆ 議決結果
  - ◆ 行政視察報告
- 04 ◆ 常任委員会の報告
- 08 ◆ 一般質問
- 15 ◆ 議会改革に関する中間報告

vol.175

2024. 12. 1

発行／宇治市議会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL.0774-20-8747（直）

編集／広報委員会

# ◆一般会計補正予算 **可決**

## ◆ごみ収集車4台を更新 (13年前 購入分)

### 9月 定例会の 概要

9月定例会は9月18日から10月16日までの29日間の会期で開かれ、市から提出された「令和6年度宇治市一般会計補正予算（第2号）」をはじめとする10議案が可決・同意されました。（3面に議決結果を掲載）

市政に関する一般質問は、9月26日、27日、30日の3日間にわたり、14人の議員が個人質問を行いました。（8～14面に掲載）

### 議事内容(抜粋)

#### **可決** 令和6年度 一般会計補正予算(第2号)

補正額は5863万1千円の増額で、予算総額は751億8130万1千円となる。府の新たな補助制度を活用した自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金の追加や、市議会議員補欠選挙に要する経費を計上する。また、善法青少年センター、善法保育所及び市営住宅の複合施設整備に係る設計に要する経費を計上するとともに、債務負担行為※を設定する。歳入では、国庫支出金、府支出金、繰越金、市債を計上している。

※ 債務負担行為：翌年度以降に債務を負担（支出）することが必要な事業について、あらかじめ予算として定めておくもの。

#### **可決** 令和6年度 一般会計補正予算(第3号)

補正額は6144万円の増額で、予算総額は751億2267万円※となる。衆議院議員選挙の執行に要する経費を計上する。歳入では、府支出金を計上している。

※ 一般会計補正予算（第3号）を先行議決したため、（第2号）より予算総額が少なくなっている。



### 決算特別委員会11人で審査

9月定例会最終日に、令和5年度宇治市一般会計歳入歳出決算をはじめとする決算関係7議案が市から提出され、11人の委員で構成される決算特別委員会に付託されました。

委員長	とりい 鳥居 進	すすむ		
副委員長	はっとり 服部 正	ただし		
委員	さなだ 真田 敦史	あつし	かどや 角谷 陽平	ようへい
	やまざき 山崎 匡	たすく	とくなが 徳永 未来	みき
	たにがみ 谷上 晴彦	はるひこ	きもと 木本 裕章	ひろあき
	わたなべ 渡辺 浩司	こうじ	せきや 関谷 智子	ともこ
	かせ 加勢 京子	きょうこ		

審査は、10月28日から11月11日までのうち、7日間にわたって行われました。

決算審査報告は、次号でお知らせします。

### 教育委員会委員の任命に同意

議会は、教育委員会委員の任命に同意しました。

●教育委員会委員（敬称略）

かがつめ たけし ひだり そういちろう  
加賀爪 毅（再任） 左 聡一郎（再任）

# 9月定例会

# 議決結果

## ◆すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (注2) (注3)	
議 案	宇治市議会委員会条例の一部改正(委員会提案)
	令和6年度一般会計補正予算(第2号)
	休日急病診療所条例の一部改正<文教・福祉>
	国民健康保険条例の一部改正<文教・福祉>
	うじ安心館非常用自家発電設備改修工事の請負契約の締結<総務>
	財産取得(=塵芥車)<産業・人権環境>
	(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に伴う機械工事の請負契約の一部を変更する契約の締結<文教・福祉>
	教育委員会委員の任命同意
令和6年度一般会計補正予算(第3号)	

## ◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成、×印=反対

議 案	議 事 内 容 (注2) (注3)	議決結果	会 派 名					無会派1	無会派2
			未来	共産	自民	公明	宇治		
意見書案	財産取得(=給食配送車)<文教・福祉>	可決	○	×	○	○	○	○	○
	金権腐敗政治を一掃することを求める意見書	否決	×	○	×	×	×	○	×
	現行の健康保険証の廃止を中止することを求める意見書	否決	×	○	×	×	×	○	×

(注1) 議長のため表決に加わっていません。  
 (注2) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。 議案の後ろの< >内は審査した委員会名、ないものは直接審議。  
 (注3) うじ未来1名欠席。  
 ※ 議事内容(抜粋)は2ページに掲載しています。

## 常任委員会等行政視察

### 議会運営委員会 日程:7月31日~8月1日

○視察先・視察項目

#### 【福岡県北九州市】

- 議会改革協議会について
- オンライン委員会について
- 議会災害・市民安全確保対応指針について



<北九州市>

#### 【熊本県熊本市】

- 熊本地震における議会対応について
- 議会デジタル化について

### 建設・水道常任委員会 日程:8月5日~6日

○視察先・視察項目

#### 【長野県長野市】

- 千曲川に係るかわまちづくり事業について
- 【富山県富山市】
- 歩きたくなるまちづくりについて



<富山市>

## 故・秋月新治議員のご冥福を祈り 黙祷

令和6年7月19日に宇治市議会議員秋月新治氏のご逝去され、市議会では、9月18日の本会議において、議場出席者全員が故人のご冥福を祈り黙祷を捧げ、鳥居進議員が追悼演説を行いました。



## 議員茶道講習会

議員自らお茶に対する知識を深め、お茶の作法を習得することを目的に、議員茶道講習会を9月18日に開催しました。

市役所7階第3応接室(茶室)にて、宇治市茶道連盟から講師をお招きし、お茶のいただき方(抹茶、お薄)や茶道の心などを学びました。



## 総務

### 9月3日 能登半島地震災害支援に係る派遣職員報告会の概要を報告

#### 市の説明

令和6年1月発生 of 能登半島地震における被災地支援として、職員を令和6年1月1日から5月10日まで、延べ182名を派遣した。

派遣職員の貴重な体験を職員間で共有し、市の財産とするため8月15日に報告会を行った。①緊急消防援助隊 ②避難所運営支援等 ③被災建築物応急危険度判定支援 ④避難所における住民の健康管理、衛生管理支援 ⑤応急給水活動 ⑥ごみ収集・運搬に係る支援についての報告内容を基に、宇治市地域防災計画等を再点検し、必要に応じて反映を行い、市の災害対応力の向上につなげる。

#### 委員からの質疑

問被災地では発災後1カ月以上たっても断水等でトイレが使えない状況にあるとの報告だが、本市の対策は。  
答簡易トイレを700組備蓄している。民間事業者と災害協定を締結し、避難所環境の改善につなげていく。

問支援する側の健康面、メンタル面を考慮し、力が十

分発揮できる体制が必要だ。隊員、職員が使う移動式トイレの導入は。

答トイレカーはさまざまな被災者が活用できる一方、広い設置スペースが必要であるなど、導入には慎重な検討が必要だと考えている。

問応援部隊の受け入れが可能な大きな拠点施設や車両の駐車場所等の準備は。

答黄檗公園、西宇治運動公園、山城総合運動公園を災害の拠点と位置付けている。駐車スペースをはじめ、今後、整理が必要と考えている。

問東日本大震災時には支援者に相当なストレスがかかってメンタルに影響があったというが、今回は。

答聞き取り調査を2回行い、心身のケアに努めている。消防では派遣された職員で不調が生じた者はいない。

問避難所運営には自主防災組織との連携が不可欠と感じたとあるが、行政側が何か手立てをして進めないと、自主防災組織は成り立たないのでは。

答市民の方に無理にお願いするという形になると、活動が続かない。新たな仕組みを考えていきたい。

### 9月3日 第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる中間総括(案)等を報告

#### 市の説明

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、数値目標は全て達成には至らなかった。特に、重要業績評価指標の達成状況では「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」の項目において厳しい状況であり、引き続き子育て・子育て環境の充実を図る。一方で人口動態は依然として減少傾向にあるが、社会動態においては0歳から17歳の世代が増加していることから、基本目標に向けた各種取組の推進により、子育て世帯に対して魅力あるまちづくりを進めていると評価している。今後はコロナの影響をはじめとした社会情勢の変化も踏まえ、次期創生総合戦略の策定には、より適切な指標の設定に努める必要があると考える。

#### 委員からの質疑

問活力あふれる産業振興等、多様な働く場の創出という観点から、安田町地区の企業立地の展望は。

答新たな雇用を生み出し、定住促進への重要な取組となる。産業用地の創出に向けた取組を進めているが、

現在、明確に示せるスケジュールはない。

問0歳から17歳の人口増加から、子育て世帯に対して魅力あるまちづくりを進められているとの市の評価に疑問を感じるが。

答評価はしているものの、さまざまな子育てプロジェクトで施策を打ち出しても宇治への愛着の満足度が低く、目標達成に至らないのは情報発信が行き届いていないことが課題であると考えている。

問18歳から20歳代の転出が非常に多い。就労や定住、通勤しやすい環境づくりの観点で重点を置いているところは。

答働く場の創出として、地域活性化につながる新たな起業や市内事業者への資金繰りの支援、若手起業家向けのセミナーなども随時行っている。

問本市には魅力的な自然環境があり愛着を感じている人が多い。開発優先ではなく守っていくべきでは。

答宇治の自然環境のよさや文化を守りつつ、今の時代に即した施策も織り交ぜながら、両方の魅力を保てるよう取り組んでいく。

## 産業・人権環境

### 8月 8日 「源氏ろまん2024」(案)を報告

#### 市の説明

源氏ろまん事業では、10月1日から11月30日まで宇治十帖スタンプラリーを開催する。スマートフォンなどのGPS機能を使用したスタンプラリーのほか、スマートフォンを持たない方にはウォーキングマップを配布して紫式部ゆかりの地を紹介する。10月10日には第34回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞の発表、11月23日には両賞の贈呈式及び文学賞受賞者講演会を、10月19日には宇治田楽まつりを、11月29日には源氏物語セミナーを開催する。

また、同時開催事業として、紫式部がたどった都から越前への旅を再現する紫式部の旅、古典の日フォーラム2024などを開催する。

#### 委員からの質疑

**問** 今年は「光る君へ」の放送もあり、例年以上に紫式部や源氏物語への関心が高まっている。この機会を生かすため、広報には一層の工夫が必要ではないか。

**答** 紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一

環として、交通事業者と連携したPRポスターの掲示や、京都駅等でのデジタルサイネージの掲示のほか、SNSを活用して広く周知を図る。

**問** ウォーキングマップでスタンプラリーに参加した方も、抽選会への参加や参加記念品の受領はできるのか。

**答** ウォーキングマップには現地を訪れて解いてもらうクイズを掲載している。クイズの解答を観光案内所に持参することで参加記念品の受領等が可能である。

**問** 紫式部の旅の事業主体、事業の詳細、予算はどうなっているか。

**答** 主催は越前市と紫式部プロジェクト推進協議会で、大津市と本市が共催する。10月18日から20日に開催され、本市では宇治上神社から宇治公園中の島に向けて行列を行う。募集人数は37名。予算は50万円を計上している。

**問** 茶づなを会場として活用すれば、相乗効果で来館者も増えると考えがどうか。

**答** 今年は大河ドラマ展を開催しているため制約がある。来年度は茶づなを会場にできるよう努力したい。

### 9月 5日 第5次UJIあさぎりプラン令和5年度実施状況等を報告

#### 市の説明

第5次UJIあさぎりプランは実効性のあるアクションプランとするため、できる限り具体的な目標値または指標値を設定するとともに、実施計画で具体的に示し、実施後の施策の進捗状況を評価し公表している。

評価は設定した目標値と指標値に対して事業実績と市民アンケートで行い、A B C Dによる4段階で評価する。A評価とB評価の占める割合が88%で前年度から上昇、D評価は0件で、C評価の割合も減少したことから多くの事業がおおむね効果的に実施できた。

#### 委員からの質疑

**問** 女性は育児のために昇進が難しいなどの意見がある一方で、ぎりぎりの人数で経営している中小企業では男性の育休取得は難しい課題だ。市の考えは。

**答** 育児休業の業務代替支援に関する記事を労政ニュースに掲載しており、今後は育児や家事に関する企業向けセミナーなども検討したい。

**問** 男女共同参画週間UJIのつどいは昨年度に続き今

年度も申し込みが多く、落選者が多かったと聞く。大きな会場に変更すべきでは。

**答** 男女共同参画支援センターの場所を周知することも兼ねて同会場で実施している。

**問** 自殺対策セミナーの参加者が減少している。若い世代が対象の場合はリモートでの参加も検討すべきでは。

**答** リモートでの参加も可能である。今後は学校を通じたチラシの配付など、周知の方法をもっと工夫したい。

**問** アンケートは18歳以上の市民1000人を年齢ごとに無作為抽出しているが、有効回答数は154件である。回収数が少ないのではないか。

**答** 審議会からの指摘もあり、オンラインでの回答環境を整備した。今後は抽出件数を増やし、封筒にメッセージを付けるなど、アンケートを見てもらう工夫も検討したい。

**問** アンケート結果では根幹となる「ゆめりあうじを知っている」が50%を超えていないが、どう考えるか。

**答** 相談窓口の周知は課題である。男女共同参画の問題は庁内で課題を共有し、全庁的に取り組んでいく。

## 建設・水道

### 9月6日 雨水貯留施設(堀池貯留管)整備事業に係る今後の対応を報告

#### 市の説明

小倉町堀池地区で実施している雨水貯留施設(堀池貯留管)整備事業は、推進機械の停止により工事が中断しているが、工事再開に向けた設計業務が7月に完了し、現在工事発注に係る積算を進めている。

推進機械が停止したことは、設計業務の受注者が業務上必要な地下埋設物の資料収集を実施せず、設計内容に不備があったことが原因と考えられ、推進機械の停止や工事の中断による工事費の増加や、新たに必要となった設計業務委託費用などの損害に対し、責任の所在や対応を受注者と協議してきたが、進展が望めない状況となっている。今後、市として受注者に対し、発生した損害の賠償を求める法的手続に移行する。

#### 委員からの質疑

問新たに必要となった設計業務の委託費用は幾らくらいなのか。

答詳細設計と測量、地質調査の3つの業務を合わせて

2850万7600円となっている。

問今後同じようなことが起きないように具体的にどのような体制を取っているのか。

答流域下水道管のように市道の一部の路線に埋設されているような主要な地下埋設物は、一般的な地下埋設物と併せてチェックリストを作成し、設計業務の中で、市と設計会社双方で確認する取組を行っている。

問設計図書の成果物が仕様書の基準を満たしているかのチェック体制は、今回どうだったのか。

答市として設計に定めるところの確認は行ったが、水道管を含む地下埋設物が1本抜けているかどうかという細かいところまでのチェックはできていなかった。

問コンサル業者との協議に進展が望めないというが、なぜ協議が進まないのか。

答自社の非を認めず、全面的に市が悪いとされ、これ以上話が進まない状況だ。熟慮を重ねた結果、相手方の意向も踏まえて訴訟に踏み切る判断となった。

### 10月7日 六地藏地区道路整備事業の進捗状況を報告

#### 市の説明

六地藏サポート道路では、京都市道外環状線と府道大津宇治線を連絡する道路の拡幅整備を行う。整備延長は約240m、標準幅員は12mで、7mの車道とその両側に各2.5mの歩道を設ける。北工区及び自転車歩行者専用道路は整備が完了し、既に供用を開始しているが、南工区は令和6年11月完成を目指し歩道整備工事を実施している。

府道大津宇治線は、府が六地藏サポート道路との交差点から京都宇治線の町並交差点までの約150mの区間を標準幅員12mに拡幅整備されており、令和6年11月末にはサポート道路との交差点部が整備され、暫定供用される予定だ。これにより六地藏サポート道路は全線開通となる見込みである。

市道町並御蔵山線への右折レーンは未整備の状態だが、その後も引き続き府道大津宇治線の拡幅工事が府により進められていく。

#### 委員からの質疑

問府道大津宇治線の右折レーンの拡幅工事の完了は、

答令和7年2月頃には右折レーンの設置予定と府より聞いているが、府道大津宇治線とサポート道路との交差点から山科方面は引き続き取り組まれていく。



問六地藏サポート道路から外環状線に出るには左折しかできず、六地藏地区道路整備事業としてはまだ完成形ではない。右折可能となるよう暫定整備区間の完成に向け、買収等の今後の動きは。

答外環状線の拡幅は都市計画決定がされており、京都市の買収等に併せて本市も買収を進め、交差点の実現を目指していく。

問年月がかかる道路築造には用地買収や近隣自治体との調整の課題がある。今後の道路計画の進め方は。

答近隣の市町村を含めた広域的な大きな枠組みの中で宇治の活性化につながるような道づくりを今後ともしっかり考えていきたい。

## 文教・福祉

### 学校施設の实地調査を実施

文教・福祉常任委員会では、小中一貫校の建設や学校施設長寿命化計画、コミュニティ・スクールの推進に際し、学校現場の現状把握をするため、学校施設の实地調査を行った。

令和6年2月に实地調査を行った宇治小学校、御蔵山小学校、木幡小学校に加えて、以下の小学校にて、8月と9月に施設要望箇所の確認や教職員との懇談、給食の試食などを実施した。今後も他の小学校の实地調査を行う予定である。

**【日 程】** 8月6日

**【調査先】**

伊勢田小学校、南小倉小学校、西小倉小学校

**【日 程】** 8月23日

**【調査先】**

平盛小学校、大久保小学校、三室戸小学校、南部小学校

**【日 程】** 9月5日

**【調査先】**

榎島小学校、北榎島小学校、北小倉小学校、西大久保小学校

**【日 程】** 9月9日

**【調査先】**

大開小学校、岡屋小学校、菟道小学校、神明小学校

#### 実施調査の様子



<伊勢田小学校>



<平盛小学校>



<西大久保小学校>



<菟道小学校>

### 10月3日 (仮称)乳幼児教育・保育支援センターの開設に向けた検討状況を報告

#### 市の説明

令和7年4月の(仮称)乳幼児教育・保育支援センター開設に向け、センターで取り組む3つの柱ごとに推進協議会や専門部会の意見を踏まえて検討を行っている。①保幼小連携では、小学校区を基礎としたグルーピング組織である架け橋ブロックによる連携の推進や保育要録・指導要録の活用に向けた方策について、②発達・子育て支援では、専門職による園訪問支援体制や移行支援シートの統一化についての検討を行っており、③研究・研修では、研究事業の実施形式や研修内容等について今後検討していく。

乳幼児期の教育・保育の基本理念を掲げる中で、今後開催する専門部会や推進協議会での協議を経て、開設に向けたさらなる準備を進めていく。

#### 委員からの質疑

**問**架け橋ブロックは子どもたちの交流や成長の機会となる良い取組であるが、現時点での懸念点は。

**答**小学校区ごとの取組に差があり、全体的に底上げできるように連携しながら進めていきたい。

**問**南部小学校と東宇治幼稚園、かおり幼稚園が連携してカリキュラムの開発に取り組んでいるが、成果は。

**答**園児と児童の交流によって園生活や学校生活が充実し、1年生の担任だけでなく学校全体を通して学びをつなぐ実感を持てたことが成果だと感じている。

**問**架け橋ブロックの取組は子どもたちの環境改善にどのようにつながるのか。

**答**就学施設間での顔の見える関係づくりは子どもが安心して過ごせる環境づくりにもつながると考えている。

**問**小学校に上がったときに先生との距離を感じてしまう保護者が多い。保護者視点を持って進めてほしい。

**答**乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会に保護者も参画しており、関係者が連携しながら検討を進める。

**問**療育が必要な子どもに発達支援ができるようなセンターのプログラムを考えるべきでは。

**答**園からの情報をもとに支援につなげる年中児サポート事業とセンターの取組を連携していく。また、センターへの専門職の配置も考えていく。



# 一般質問

## 京都宇治党・蒼の会議員団

かな が さき ひで あき  
**金ヶ崎 秀明** 議員



### 不登校児童・生徒の支援制度の拡充を

**答弁** 一人ひとりの状況に応じた支援ができるよう検討を進めている

**問**不登校児童・生徒が増加している中、市は支援事業に熱心に取り組んでいるが、その減少にはつながっていない。U j i ふれあい教室は生涯学習センターの1箇所のみで、利便性の観点から複数設置や働く保護者の支援として開設時間の拡充、カリキュラムの拡充などに取り組むべきと考えるがどうか。

**答【教育部長】** 児童・生徒一人ひとりの状況を見ながら多様な支援を行うことができるよう、通いやすい場所や支援体制、支援プログラム、児童・生徒の活動に適した環境など、現在も検討を進めている。

**問**不登校児童をしっかりと守っていくという教育長の

強い決意を聞きたい。

**答【教育部長】** 児童・生徒一人ひとりの状況を見ながら、市教委として責任を持った支援が必要であると考えている。

### 要支援認定・要介護認定の審査の業務効率化に向けてICTを活用すべき

**答弁** 訪問調査時のタブレット活用や先進事例を研究するとともに国の動向も注視したい

**問**要支援認定、要介護認定の迅速化は全国的な問題であり、業務の効率化が求められている。本市の認定審査は紙媒体で調査票を作成しているが、先進自治体ではタブレットを導入して調査票を作成し利便性の向上を図っている。人員不足や業務負担軽減の効果が期待できることから、本市でもタブレットを導入し、業務効率化を検討すべきでは。

**答【健康長寿部長】** 本市でも要介護認定の迅速化を図るため、認定審査会委員のオンライン参加を可能にするなど、ICT化の取組を進めている。さらなる効率化やサービス向上を目指し、訪問調査時のタブレット活用や先進事例を研究するとともに国の動向も注視していきたい。

## 共産党議員団

とく なが み き  
**徳永 未来** 議員



### 18歳までの医療費無償化、急務では

**答弁** 府の動向を注視していく

**問**府内で18歳までの医療費助成を行っていないのは本市を含めて4市のみである。この状況に考えは。

**答【健康長寿部長】** 各自治体がそれぞれの実態を踏まえ、実施している。本市では制度開始以来、所得制限を設けておらず、一律に比べるのは適当ではない。

**問**全国で通院の医療費助成に所得制限を設けていないのは1589自治体で、1198自治体は自己負担もない。他自治体との比較は適当ではないというが、引越しを検討する方はどこが子育てしやすいまちなかを比べられる。持病のない高校生の医療費が8カ月間で1万7860円かかったという事例もあり、保護

者の負担が大きい。本市でも子どもの医療費無償化が急務ではないか。

**答【同部長】** 1カ月の医療費が高額になった場合には高額療養費制度がある。高校生年齢への医療費助成は、負担軽減効果が限定的であり、本市では中学生までとしているが、府の動向を注視していく。

### 運転免許証返納後、電動自転車等の購入補助を

**答弁** 交通系ICカードICOCA2000円分を交付している

**問**高齢者の運転免許証返納後の移動を助ける手段の一つとして、交通安全教室とセットで電動自転車や電動三輪車の購入補助を行えないか。

**答【健康長寿部長】** 本市では65歳以上の免許証自主返納者に安全な移動手段である公共交通の利用促進を目的に、交通系ICカードICOCA2000円分を交付している。現時点で新たな補助制度の予定はない。

**問**免許証返納後も高齢者が移動に困らないよう、地域の特性を考慮して利用者が選ぶことができるさまざまな施策を考えることが必要だ。ぜひ検討してほしい。

## うじ未来

いま がわ み や  
**今川 美也** 議員



### 本市の未来のまちづくりに対する市長の考えは

**答弁** 第6次総合計画及び都市計画マスタープランを着実に推進し実行する

**問**市長は公約である安心・躍動・再スタートを基本理念とし、コロナや物価高騰の影響が非常に大きく厳しい状況の中さまざまな施策を進めてきた。就任からの4年間で実施した施策の進捗と評価を踏まえ、未来のまちづくりに対する市長の考えは。

**答【市長】** 未来のまちづくりの方向性を示している第6次総合計画及び都市計画マスタープランを着実に推進し実行することが、将来にわたって魅力のある宇治の実現につながると考えている。まずは、第1期中期計画に掲げる重点施策やまちづくりの土台となる取組を職員一丸となってさらに推し進めていく。

## 公明党議員団

とり い すすむ  
**鳥居 進** 議員



### 立ち寄りたくなる魅力ある市役所ロビーに

**答弁** 市民理解が得られる憩いの場としたい

**問**市民交流ロビーは、市役所に用事がない人でも立ち寄ってみたいとなるような魅力ある場所となっていない。カフェやコンビニを設置するなど休憩スポットとしてコミュニケーションが図れる場所にしていくべきだと考えるが、ロビーを中心に市役所を充実させていくことへの市の考えは。

**答【総務・市民協働部長】** 昨年度、ロビーをより積極的に活用するアイデアを全庁的に募集し、56の提案があった。議員や職員からの提案、さらには他市の取組を参考にしながら、手続や相談のために来庁する市民に一定の配慮をしつつ、市民交流ロビーを市民理解

### 宇治川の鵜飼いを 安定した観光事業運営を

**答弁** 関係者と課題を共有し解決に向け努力するとともに、積極的な支援に努める

**問**宇治川の鵜飼いは本市の重要な観光資源であるが、船頭の高齢化や後継者不足により稼働する船の数が減少している。船頭の後継者育成などを含めた安定した観光事業運営について、市の考えは。

**答【産業観光部長】** 他市の事例なども参考にしながら、鵜飼事業を実施する観光協会や船会社と課題を共有し、解決に向け努力するとともに、さらなる魅力発信や発展に向け、積極的な支援に努める。

**問**天ヶ瀬ダムの放流による増水時の開催中止などが原因で、開催日数が大幅に減少している。放流に関しては国土交通省との連携や調整が必要と考えるが。

**答【同部長】** これまで国土交通省では鵜飼事業に適した水深、流速を検討し、対策を実施されてきた。河川管理者である近畿地方整備局に対し、治水安全上支障のない範囲で、鵜飼事業の安定的な実施ができる放流の検討を行うよう申入れを行っている。

が得られる憩いの場としていきたい。また現在、既に市民交流ロビーコンサートなどのさまざまな催しにロビーを活用しており、今後もできることから取り組みながら引き続き検討を進める。

### 資源ごみ持ち去りを規制する条例の 制定を

**答弁** 条例の罰則規定の効果等を検証していきたい

**問**本市は資源ごみの持ち去りを規制する条例がなく、実効性を持った対応が困難な状況にある。近隣の市町では既に条例が制定されており、地域住民や自治会から本市に対して条例制定の要望も聞いている。本市も禁止条例に関して整備すべきでは。

**答【人権環境部長】** 第三者による資源ごみや小型家電等の有価物の持ち去りは許されない行為であるため、宇治警察署との合同パトロールなどを定期的を実施し、持ち去りの制止をはじめ、悪質な者には警告、通報を行っている。条例において罰則規定を設けた市町村も増えていることから、まずはその効果等を検証していきたい。

# 一般質問

## 無党派

ふじ た とも はる  
**藤田 智晴** 議員



### 公立中学校の統一制服の導入を検討しては

**答弁** 市全体で統一することは考えていない

**問** 市内公立中学校では各校で異なる制服が採用されており、成長や転校、性別が異なるきょうだいの制服購入費用は保護者にとって大きな負担となっている。統一制服の導入で生産コストが削減され、保護者の経済的負担が軽減された自治体も多く、加えて近年ジェンダー平等や多様性の尊重が進み、性別にとらわれない制服デザインの導入も広がりを見せている。本市も統一制服の導入を検討しては。

**答** 【教育部長】 制服の着用は、性別にかかわらずスラックスやスカートなど自ら選択できるようにしている。また、ごみ減量及びリサイクルの促進として、卒業や

サイズアウトなどで不要となった制服等のリユースを実施し、保護者の経済的負担の軽減にも寄与している。各中学校では、生徒や保護者、地域の意見を聞きながら制服を採用しており、学校や地域への愛着や誇りを持って制服が着用されていると考えている。市全体で制服を統一化することは考えていない。

### 地域事業者における観光案内の負担軽減への取組は

**答弁** より効果的な観光案内の手法を検討する

**問** 観光地周辺の事業者から、外国人観光客の増加に伴い観光案内に時間がかかり、店舗本来の営業に支障が出ているとの声を聞く。QRコードを使ったデジタル案内パンフレットの作成など、観光客対応の強化と地域事業者への負担軽減に関する取組は。

**答** 【産業観光部長】 インバウンドの増加により、観光事業者以外の事業者も観光案内に苦慮しているとの声を聞いており、観光案内サインの設置や、より効果的な観光案内の手法の検討など、観光客にとって分かりやすい観光案内に努めたい。

## 共産党議員団

さか もと ゆう こ  
**坂本 優子** 議員



### 国保料、介護保険料などを引き下げ、物価高騰への支援を

**答弁** 保険料の改定率の抑制などを行った

**問** 宇城久の企業の経営経済動向調査では、景気実績がコロナが猛威を振るった時以来の2桁マイナスで、予測値よりも悪化している。消費者物価指数も2.5%上昇。物価高騰で市民の暮らしや地域経済が打撃を受ける中、市長は国保料や介護保険料などを引き上げた。年収400万円40歳代夫婦と小学生2人の場合の国保料は57万2990円で、年収の14.3%を占める。国の保険料抑制への交付金も使っていない。基金や一般会計を繰り入れて保険料引き下げを行うべきだ。

**答** 【健康長寿部長】 後期高齢者支援金分は保険料率の伸びを2分の1に抑制し、医療分は基金残高を3億円

確保した上で改定率抑制の措置を行った。

**問** 米不足から新米は1000円から1500円も高騰している。米価格高騰への補助をするべきでは。

**答** 【福祉子ども部長】 一時生活支援や家計改善支援、くらしの資金の貸付、生活保護相談につなげている。

### マイナ保険証と紙の保険証の併用を求めるときでは

**答弁** 市政だよりや窓口で健康保険証等の取り扱いの周知に努めていく

**問** マイナンバーカードの取得率はポイント等を付与しても7割程度だ。マイナ保険証での受診率は。

**答** 【政策企画部長】 府全体で約12%となっている。

**問** 政府は12月2日から保険証の新規発行を停止し、現行の保険証は1年間の有効期間まで使用でき、5年間有効の資格確認証でも受診可能としているが、マイナ保険証はトラブルも発生し、市民の間で混乱と不安の声が上がっている。しっかりと広報をするとともに紙の保険証の併用を求めるときだ。

**答** 【健康長寿部長】 市政だよりや市ホームページ、窓口などで健康保険証等の取り扱いの周知に努めていく。

## 自民党議員団

きもと ひろあき  
**木本 裕章** 議員



### 国道24号沿道安田町地区での 企業立地の現状は

**答弁** 国道24号東側地区では、開発申請許可後に造成工事に着手する予定である

**問**市長は就任後の4年間で、以前より課題であった土地利用に関して、新たな工業用地の確保となる国道24号沿道安田町地区での企業立地を進めてきた。現時点での状況と今後の見通しは。

**答【市長】** これまで地域未来投資促進法に基づく基本計画及び土地利用調整計画を策定するなど、各種手続を進めてきた。国道24号東側の地区では、開発許可申請が許可され次第、開発事業者が造成工事に着手する予定である。今後も企業立地を進めるとともに、地域資源を生かした市内産業の振興や地域の特性を生かした都市基盤整備を行うなど、市民や地域生活を支え

るまちづくりを関係機関等と連携して進めていきたい。

### 市民協働の取組に対する成果や考えは

**答弁** 中宇治地域市民協働推進拠点の整備などの取組を通じて地域との連携・協働を推進する

**問**中宇治地域市民協働推進拠点の整備にあたり開かれたワークショップでは、若い世代も集い、中宇治地域の未来を自分事として意見を出し合い、未来の地域の姿を考えていくという、市民協働の理想的な姿が見られた。これまで進めてきた市民協働の取組に対する成果や考えは。

**答【市長】** 中宇治地域市民協働推進拠点の整備のほか、地域の中で連携・協働する仕組みづくりや、職員が地域の方々とともに地域課題を考え地域主体の取組をサポートする市民協働推進プロジェクトチームの立ち上げなど、新しいまちづくりに積極的に取り組んできた。これらの取組を通じて、全庁挙げて、子どもから高齢者まで地域社会を構成するさまざまな主体と連携・協働を推進している。さらに市全体で地域が活性化するように引き続き取り組んでいく。

## 無会派

ささき まゆみ  
**佐々木 真由美** 議員



### 児童・生徒のプライバシーに配慮された 健康診断が実施されているのか

**答弁** 国の通知に基づいて実施した

**問**国は学校での健康診断の実施方法について、児童・生徒のプライバシーや心情に配慮した環境整備を求める通知を出したが、市の実施状況は。

**答【教育部長】** 国の通知に基づき、各校に通知を行い、原則、体操服や下着の着衣等により、児童・生徒のプライバシーや心情に配慮して実施した。保護者に向けても各学校で学校医と相談の上、健康診断の意義や重要性、検査・診断の内容や方法を文書で案内している。

**問**不登校の生徒・児童が集団健診を受けることが困難である場合の対応はどのようにしているのか。

**答【同部長】** 学校での集団健診が受診できなかった場

合は、登校した際に保健室で検査可能な項目について検査をしている。また、病院での受診が必要な項目は、学校医の病院で学校健診として受診できることを案内している。今後も保護者と相談しながら、さまざまな機会を捉えて丁寧に案内していく。

### 保育DXの推進には研修やガイドライン 策定などの取組が必要では

**答弁** セキュリティーのリスクに注意を払う必要があるため、対応を検討する

**問**ICTの環境整備により、保育現場のデジタル化を推進することは、職員の事務負担の軽減や保護者の利便性を高めるなどのメリットがあるが、一方で、個人情報漏えいするリスクが発生する。システムを習得するための研修やガイドラインを設けるなどの徹底した対応が必要と考えるが、市の考えは。

**答【福祉こども部長】** 保育DXの推進には、保育士等が新たなシステムを習熟する必要があり研修などの対応を検討していく。また、セキュリティーのリスクには細心の注意を払う必要があるため、ガイドラインの策定も含めて対応を検討する。

# 一般質問

## うじ未来

はっとり ただし  
**服部 正** 議員



### 中宇治地域市民協働推進拠点の現在の取組状況と今後の進め方は

**答弁** 市民参画のワークショップ等を実施し、地域の方と共に検討している

**問**市民協働のまちの仕組みが崩れつつあるのを危惧する中、中宇治地域市民協働推進拠点の整備には大変期待している。現在の取組状況と今後の進め方は。

**答**【総務・市民協働部長】基本ビジョンを踏まえ、整備構想を策定するとしており、構想段階から市民参画のワークショップ等を実施し、必要とする機能を地域の方と共に検討している。また、策定を支援する共同企業体とも連携し、整備構想の策定を進めている。

**問**これまで、基本ビジョン策定に関わるワークショップなどで、市民とあらゆる分野において意見交換をし、課題に対しての丁寧な考察や市民ニーズの把握に努め、

市民から喜ばれる施設となるよう、しっかり準備を進めてこられたと感じている。今後も引き続き取組を進めてほしい。

### 中宇治周辺の道づくりの推進に向けた現在の取組状況は

**答弁** 検討会を設置して交通課題の整理を進めている

**問**中宇治周辺の道づくりの推進に向けては、さらなる観光振興や経済の活性化など、大いに期待している。地域のさらなる発展につながる周辺道路のまちづくりを検討していくとのことであったが現在の取組状況は。また、どのようなビジョンを持って進めていくのか。

**答**【技監】市民協働推進拠点の具体化に向けた取組を進めるなど、本市の中央玄関口にふさわしい、魅力あるまちを目指している。これらを効果的に進めるため、検討会を設置し、中宇治地域周辺で進める観光振興、まちづくり関連の各施策において想定される人や車の動線、それらが抱える交通課題の整理等を進めている。また、広域的な動きを見極めつつ、国・府とも連携し検討を進める。

## 共産党議員団

おお かわ なお ゆき  
**大河 直幸** 議員



### 北陸新幹線の延伸に対し市長は厳しく意見をすべきだ

**答弁** 慎重な調査や地元への丁寧な説明など適切に対応される必要がある

**問**北陸新幹線は5兆円前後の巨額な費用がかかる。本市を通過する計画だが、費用負担はないのか。

**答**【政策企画部長】先行事例では駅が設置される市町村は整備費用の一部を負担している。現在のところ駅の設置がない本市は、費用負担は求められないと考えているが、今後の動向を注視していく。

**問**与党プロジェクトチームの決議では来年度に事業着手となっている。市長として厳しく意見をすべきだ。

**答**【市長】国や鉄道・運輸機構において慎重な調査や地元への丁寧な説明など、適切に対応される必要がある。市民生活の安全・安心、環境への影響、市民理解

の観点から、本市として適切に対応していく。

**問**北陸新幹線の延伸よりも、バス路線や乗り合いタクシーなど市民の日常の移動手段に税金を使うべきだ。

### 保育料完全無償化、奨学金支援などで市民の負担軽減を

**答弁** 国の動向に注視しつつ負担軽減の在り方を検討していく

**問**本市では子育て世帯の流出が続き、現市長の在任中に人口は18万人を切った。子育て支援の貧弱さが原因だ。保育料は3歳からは無償だが、0歳から2歳の保育料負担は相当大きい。近年保育料の完全無償化に踏み出す自治体が増えているが本市の考えは。

**答**【福祉こども部長】保護者の所得状況等に配慮しながら、一定の負担は必要と考えている。国の動向を注視しつつ、保護者の負担軽減の在り方を検討していく。

**問**昨年度は本市の奨学金返還支援制度の募集定員50人を上回り、利用できない人が出た。利用期間は最長5年で、非正規雇用で契約更新の可能性がなければ利用できない。使いやすい制度にするべきでは。

**答**【同部長】ニーズや事業効果を分析し検討していく。

## 共産党議員団

たに がみ はる ひこ  
**谷上 晴彦** 議員



### 買物、通院などの移動保障のため予約制 乗り合いタクシー導入の早期実現を

**答弁** 部局横断的に協議を進めているが具体的なスケジュールは示せない

**問** 車やバイク等を運転できない人が、買物、通院、公民館等へ行くための交通手段として、安くて便利な予約制乗り合いタクシーの導入を市は検討しているのか。

**答【都市整備部長】** どのようなサービスが有効で持続可能であるかなど、部局横断的に協議を進めている。

**問** 市民の移動の保障は、医療、福祉、教育、観光、商工業など、まちづくりの土台だ。健康で文化的な生活を営む権利を具体化することであり、医療費の抑制にもつながる。広く財政効果や行政効果を見て検討が必要だが、この観点を取り入れて検討しているのか。

**答【同部長】** そういった視点では検討していない。た

だ、幅広くさまざまな可能性を検討している。

**問** 移動手段の充実が豊かな市をつくる基盤となる。いつまでに検討し、具体化するのか。

**答【同部長】** 具体的なスケジュールは示せない

**問** 早期実現を求める。

### 有機フッ素化合物の数値が増加した 原因究明と除去が必要では

**答弁** 府などと連携し、対応する

**問** 2022年7月に府が行った自衛隊宇治駐屯地周辺の井戸水水質検査の結果、暫定指針値を超える有機フッ素化合物（PFAS）が検出された。昨年の再検査では1カ所から前年を上回る暫定指針値の約2倍の90ng/Lを検出した。市民の健康を守るべき市として、数値が増加した原因を究明し、除去が必要では。

**答【人権環境部長】** 府に、継続的なモニタリングの実施等を要望している。今後も府など関係機関と緊密に連携しながら、市として必要な対応をしていく。

**問** 一番大事な原因の究明と除去についての答弁がない。原因究明と除去の方針を持つよう強く要望する。

\*ng(ナノグラム)：重さの単位。1ナノグラムは1グラムの10億分の1。

## 公明党議員団

にし おか のぶ こ  
**西岡 伸子** 議員



### 子育てにやさしいまちづくりの 将来展望は

**答弁** プロジェクト事業の全市展開を目指し、新たな事業計画案を取りまとめる

**問** 令和3年度からスタートした子育てにやさしいまち実現プロジェクトは、来年度いよいよ全市に展開される。市長の感じる手応えと評価、今後の子育てにやさしいまちづくりの将来展望は。

**答【市長】** 本事業は4年目を迎え、発展的な施策展開が図られていると手応えを感じている。モデルとして開始した中宇治エリアを木幡・黄檗、小倉に拡大し、令和7年度にはプロジェクト事業の全市展開を目指している。また、府の子育てにやさしいまちづくり推進計画制度は、本市が目指す子どもが笑顔あふれ健やかに育つ子育て・子育てにやさしいまちづくりを加速さ

せる大きな後押しになる。市として新たな事業計画案を11月頃をめどに取りまとめ、木幡・御蔵山地域を新たなモデルエリアに設定して、宇治のまち全体で子どもを見守り支えるまちづくりを総合的に推し進める。

### 天使ママに寄り添った対応や取組は

**答弁** 身近に相談できる場所を周知するため、ホームページなどへの掲載を検討していく

**問** 流産や死産、新生児死を経験した母親（天使ママ）は原因が不明でも自分を責め、深い喪失感を抱き苦しんでいる。神戸市ではホームページに相談窓口の案内や利用できる制度を掲載し、その内容は天使ママに寄り添う心温まるものとなっている。情報提供リーフレットも作成し、区役所や保健福祉窓口で配付されているが、本市ではどのような対応、取組をしているのか。

**答【福祉子ども部長】** 保健師や助産師が訪問や電話等で相談にのり、寄り添いながら不安の軽減に努めている。今後、支援を必要とされる方に対して身近に相談できる場所を周知していくため、市のホームページなどで掲載できるよう検討していく。

# 一般質問

## 自民党議員団

わた なべ こう じ  
**渡辺 浩司** 議員



### 学校や保育施設等において普段から危機管理能力を高める取組を

**答弁** マニュアルに基づいた訓練や研修に取り組んでいる

**問** 学校の危機管理体制の確立が重要である。災害や事件、事故の発生時に管理職等が自信をもって対応を判断できるよう研修等が必要だが教職員の若返りや人事異動もある中、市教委の対策は。

**答** 【教育部長】 防災計画や安全管理マニュアルに基づき、訓練や職員研修に取り組んでいる。また、事故発生時には各校と情報共有し、同様事例発生時に迅速に対応できるよう危機管理意識の徹底を図っている。

**問** 保育施設や育成学級でも普段から不審者対応などの危機管理能力を高める取組をすべきと考えるが。

**答** 【福祉こども部長】 安全管理等の各種マニュアルに

基づく避難訓練の実施や危機管理室の出張出前講座等により、災害時等の児童の安全確保に備えている。民間保育施設でも法令等で規定の訓練等を実施しており、府の指導監査時には市も同行し確認している。児童の安全確保を最重要課題として運営していく。

### 桜などに被害を及ぼすクビアカツヤカミキリには市独自に先手を打った対策を

**答弁** 自然環境に大きな影響をもたらす可能性があることから危機感を持って取り組む

**問** クビアカツヤカミキリは生態系や人の生命、身体、農林水産業に被害を及ぼすため特定外来生物に指定されている。幼虫が桜などの樹木を内部から食い荒らして枯らしてしまう被害が報道されており、本市でも桜並木が失われる可能性など、観光等への影響は甚大である。市独自に調査し先手を打って対策すべきでは。

**答** 【人権環境部長】 市内で個体が発見されれば、自然環境に大きな影響をもたらす可能性があることから危機感を持って取り組むべき課題と認識している。市民にもホームページ等で周知し、発見時には府への通報を呼びかけている。今後も対策に万全を期したい。

## 共産党議員団

みや もと しげ お  
**宮本 繁夫** 議員



### 上下水道事業における訴えの提起議決を要する条例制定の考えは

**答弁** 新たに条例を制定することは考えていない

**問** 雨水貯留施設整備事業（堀池貯留管）で設計業者を訴えるにあたり、地方自治法では、議会の権限として普通地方公共団体がその当事者である訴えの提起、和解、あっせん、調停及び仲裁に関することは議決しなければならないと定められているが、地方公営企業法では、これらのことは条例で定めるものを除き適用しないとされている。なぜ適用除外なのか。

**答** 【上下水道部長】 地方公営企業の独立性を尊重し、能率的・経済的な業務運営を確保するため、管理者の自主性を大幅に強化し、企業の日常の業務運営を原則管理者に委ねることが必要であることから、規定され

ているものと考えている。

**問** 総務省の文書には、地方公営企業はあくまでも当該地方公共団体の事務の一部である以上、地方公共団体の組織及び運営の基本法である地方自治法や地方財政法、地方公務員法の規定が原則適用されるが、一般行政事務を規律することを目的として設けられているこれらの規定を全面的に適用したのでは、水道などの事業を効率的・機動的に行ううえで障害となる規定を排除し特例を設けたとある。今回は訴えの提起だけだが、今後、和解や賠償などの問題が出てくる。水道事業だけでなく下水道事業もあり、大きな予算規模になる。条例で議決を定めている自治体もあるが、本市にそうした考えはないのか。

**答** 【同部長】 議会が議決を要するとの条例を制定している自治体があることは承知しているが、市として新たに条例を制定することは考えていない。



## 議会改革に関する調査・検討について(中間報告)

令和5年9月に議長から議会運営委員会に諮問された「議会改革に関する調査・検討」事項について、令和6年9月に議会運営委員会委員長から議長に中間報告を行いました。



議会運営委員会委員長から議長へ中間報告

### 【中間報告より(要約)】

#### 第1. 前期議会の答申において継続して検討を行うとされた事項

##### 1. ICTの活用の基本的な考え

タブレット端末の更新や議会情報ファイリングシステムなどの検討を行う。また、議場内の傍聴環境等の充実をはじめ、議会棟のWi-Fi整備について検討を進めていく。

- (1) 委員会条例や会議規則等の改正を検討し、緊急時の災害発生時等にオンライン会議が開催できるよう検討を進める。
- (2) 年度内を目途に、ペーパーレス化の本格実施に向けた課題を整理する。

##### 2. 大規模災害が発生しても機能する議会の基本的な考え

令和6年1月に実施した大規模災害発生時の議会活動対応訓練を踏まえ、議員の安否確認や情報共有の手法、業務継続計画などについて、引き続き検討を行う。



令和6年1月に実施した訓練の様子

##### 3. 一般質問や議案審議、委員会審査の在り方

- (1) 市民にわかりやすい一般質問の在り方について、ディスプレイの試行運用を実施し効果の検証を行った。今後、新たな議場システムの運用やタブレット端末の活用の検討と併せて、引き続き検討を行う。
- (2) 議員提出議案の手順について、過去の事例を確認し提出フローの検討を行った。また、傍聴者閲覧用資料における個人情報の取扱いは、今後も必要に応じて、引き続き検討を行う。

##### 4. 議会棟の設備改修の基本的な考え

議場の傍聴席へのモニター設置及び聴覚障害者に対する音声認識表示システムの検討を行う。また、大規模な災害や非常事態が発生した場合に必要な議会棟非常用電源等の電力確保の手段について、引き続き検討を行う。

#### 第2. 今期議会において検討すべきとされた事項

##### 1. 会派控室の在り方

会派控室の1人当たりの面積を均一化する方向で整備することを確認し、対応案を作成した。会派要件については、申し合わせ事項や会派規程における過去の経過等を確認するとともに、交渉会派制<sup>※</sup>の調査を行い、政務活動費の交付の取扱いと併せて、引き続き検討を行う。

<sup>※</sup>交渉会派：会派のうち、一定数以上の議員が所属している会派。本会議での代表質問権などを持つことができる。

## 虚礼廃止のお願い

政治家（候補者、候補者になろうとする者、現に公職にある者）の寄附は罰則をもって禁止されています。有権者が勧誘・要求することも禁止されています。

また、選挙区内で、年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）を出すことも禁止されています。

市民・各団体の皆さんには、ご理解をお願いいたします。

## 議会をご覧ください

### 本会議の傍聴について

議会棟4階の傍聴席入り口で、住所、氏名を受付票にご記入いただき、受付箱に投函の上、資料を取って議場傍聴席にお入りください。

### 委員会等の傍聴について

議会事務局で傍聴申込書に住所、氏名、傍聴を希望する案件名を記入して委員長・議長に申し込みをしてください。委員長・議長は原則として許可し、「傍聴許可証」を交付します。開会予定時刻の30分前で定員(第1・第2委員会室は10人、第3委員会室は20人)を超える場合は抽選、超えない場合は先着順となります。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
(電話：0774-20-8747)

アンケートはこちら



議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください



## 議会の動画 配信中

宇治市議会では、本会議や常任委員会等をインターネットで動画配信しています。生中継や録画配信は、市議会ホームページの「議会中継」をご覧ください。



生中継



録画

上の二次元コードを読み取ることで宇治市議会YouTubeのリンク先にアクセスできます。

## ホームページからの閲覧方法

議会での活発な議論がリアルタイムでご覧いただけます!

市議会ホームページからは以下の方法でアクセスできます。



- ① 宇治市議会トップページ
- ② 左側のバナー 上から二つ目「議会中継」をクリック

※宇治市議会トップページ最下部の公開用スケジュールからもアクセスできます。

## 次回定例会のお知らせ 12月26日～1月29日 開催予定

### 令和6年 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
				議会運営委員会		
22	23	24	25	26	27	28
			議会運営委員会 請願提出締切	本会議 (開会・提案説明等)		
29	30	31				

### 令和7年 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
			議会運営委員会 本会議 全員協議会			
12	13	14	15	16	17	18
			本会議(一般質問)		予備日	
19	20	21	22	23	24	25
			常任委員会			
26	27	28	29	30	31	
		議会運営委員会	本会議 (閉会)			

最新の情報は市議会ホームページにてご確認ください。

次号(第176号)は、令和7年3月15日に発行します。